

3. 11 東日本大震災及び核汚染に鑑み
「これまで」と「これから」を考える

ECOROUNDTABLE'11 11

の 御案内

と き： 2011年9月1日（木）9：40～17：00

ところ： いわて県民情報交流センター(アイーナ)8F（804A・B）
盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 TEL019-606-1717

主 催： 農産物検査規格登録検査機関/日本農林規格登録認定機関
有機空間検査認証機関/有機酒類検査認証機関 ASAC

後 援： 岩手県、二戸市、財団法人 自然農法国際研究開発センター
一般社団法人 MOA自然農法文化事業団

参加費： 無 料

（事前申込が必要です。詳しくは「参加方法」を参照して下さい。）

開催主旨

実は 3.11 以前から農林水産業、建築、食品製造業は大きな変革を迫られてきました。

2020 年までに有害化学物質の生産・消費に伴う「人類と環境」への影響の最小化が国際協約で求められています。

そこで、農林水産省では、「化学合成農薬」「化学合成肥料」を減らす方策の一つとして、「有機農業を始めとした環境保全型農業の推進に国の支援として 4,000 円/10 a」(県市町村 4,000 円/10 a) の計 8,000 円/10 a の「環境保全型農業直接支援対策」を本年(平成 23 年)から始めることになりました。

その矢先に 3・11 の東日本震災が起き森林を含む自然界に核問題をもたらしました。今回取り上げるテーマとしては、

住宅建築においては、建材の汚染と有害化学物質汚染に係わる「瑕疵」の問題、森林再生と木材のトレーサビリティ。

食と農においては、食の安全性に対する放射線照射種子や原発由来の放射性物質の影響、在来種の保存の問題、放射性物質汚染でも注目されている農産物のトレーサビリティがあります。

3.11 後の持続可能な農林水産業、建築、食品製造に向け、「エコ・ラウンドテーブル 11」に参加し大いに役立てていただけることを願っております。

演者・スピーカー(敬称略・順不同)

高村 英世(北岩手古代雑穀 代表)

丸山 豊(日本オーガニック検査員協会理事長)

小川 直也(株アマタ環境認証研究所 主任審査員)

小若 順一(特定非営利活動法人 食品と暮らしの安全(旧・日本子孫基金)代表)

相根 昭典(天然住宅 代表・株アンビエックス・代表取締役)

寺澤 政彦(特定非営利活動法人 ASAC 会長 / 医学博士)

岩泉 好和(特定非営利活動法人 ASAC 副会長 / アクシス委員会連合会長)

プロフィール（略歴）

高村 英世

二戸市の農業委員をはじめ数々の役職を務め、現在、「北岩手古代雑穀」代表。
日本で初めて有機 J A S 雑穀の認定事業者になり「日本一の雑穀博士」という肩書きと「地域特産物マイスター」の称号を持ち「雑穀マイスター」として全国に発信している。

丸山 豊

1985年東京大学卒業。1998年オーガニック検査員として独立
2000年 JOIA（日本オーガニック検査員協会）は、NPO 法人として認可を受ける。
2006年 JOIA 理事長に就任。
IOIA 公認トレーニングコーディネーター。

小川 直也

㈱アマタ環境認証研究所主任審査員。
FSC 森林認証（森林管理認証、COC 認証）の審査を行っている。
また、FSC 森林認証や WWF ジャパン林産物調達チェックリストの利用事例のセミナー講師等を行っている。

小若 順一

1984年に、食品と暮らしの安全基金（旧称：日本子孫基金）を設立し、現在、代表を務める。
ポストハーベスト農薬の全容を世界で初めて解明し国際的評価を受ける。
編著書「食べるな、危険！」「食いたい、安全！」（ともに講談社）
「健康な赤ちゃんを産み育てる本」（ジャパンタイムス）
「住まいにひそむ農薬がわかる本」「暮らしの安全白書」（ともに学陽書房）
共著※に「健康な住まいを手に入れる本」（コモンズ発行）
など他多数の執筆監修著書がある。
また、「原発震災」問題を「放射能で首都圏消滅」（発行三五館・2006年4月26日初版）の著書で発表している。

相根 昭典

一級建築士。「健康住宅」の先駆者としてTV、新聞、雑誌などマスコミに数多く登場する。
安全な素材にこだわり、独自に研究・開発を行い、化学物質を極限まで使わない健康住宅を提供。
循環型社会を現実にするエコヴィレッジを展開中。大地を守る会、青山環境デザイン研究所などの講師を務め、全国で健康住宅セミナーの開催、学会での講演など活動は多岐に渡る。
共著※に「健康な住まいを手に入れる本」（コモンズ発行）など他多数がある。

寺澤 政彦

90年小児科医院開業、アレルギー、シックハウス症候群の診断・治療・予防に取り組む。
97年には漆喰と無垢材を使用した医院を建築して、一日の大半を過ごす室内空気の質が健康にとって重要であることを示した。
耐性菌の問題にも積極的に取り組んでいる。
2010年9月ASACの会長に就任。
著書に「抗生物質で子どもの病気が治せない」（リヨン社）
共著※に「健康な住まいを手に入れる本」（コモンズ発行）など他多数ある。

岩泉 好和

NPO 法人アクシス委員会連合会長
日本農林規格登録認定機関/岩手県認定認証機関/有機空間認証機関 NPO 法人エイサック事務局長
農林水産省が農産物検査から雑穀検査を廃止する時点で引継ぎを受け、日本唯一雑穀の格付検査認定機関であり、更にEUで拡大しているオーガニック・レストラン・ホテル等の施設の日本唯一の認証機関であるASACを立ち上げ事務局長として運営にあたっている。
漫画「美味しいぼ 101号・食の安全」に実名で登場している。
共著※に健康な住まいを手に入れる本」（コモンズ発行）など他多数ある。

予定進行表

(全て仮題であり、コメントは主催者のものです。スピーカー等の都合により内容を若干変更する場合がございます)

時 間	項 目	内 容
9:30~	開 場	
9:50~10:00	開会行事	進行案内及び主催者挨拶
10:00~10:30	冒頭講演	「これまでとこれから」 ASAC会長/医学博士 寺澤 政彦氏
<p>【コメント】 現代人は、過去の核実験等により積み重ねられてきた体内被曝のリスクと食品添加物等を含む有害化学物質（農薬・建材・生活用品等に多用）の摂取によるリスクがあったわけです。 ところが、3.11を境に私達を取り巻く環境は更に困難になりました。 放射性物質が全地球をくまなく汚染する状況で何ができるのか。</p>		
10:30~11:00	基調講演	「数千年も続く在来種絶滅の危機」 農産物検査規格登録検査機関/日本農林規格登録認定機関 ASAC事務局長 岩泉 好和氏
<p>【コメント】 生産農家、消費者の食習慣の変化とそれに伴う加工、流通環境及びガンマー線等の放射線照射による「品種」と「銘柄」等の表示の課題を抱え、今後数年で在来種の多くが消失の可能性がある。 又、今般の原発からの核拡散で突然変異「弱有害遺伝子」による品種・銘柄への影響を少なくする必要があります。</p>		
11:00~11:10	展示品・関係著書閲覧時間 (休憩時間)	
11:10~11:40	食育と環境教育	「環境保全」と「生物多様性」を有機農産物の生産を通じ 小学生の食育・環境教育の場として提供してきた現状報告 有機JAS認定事業者 高村 英世氏
<p>【コメント】 「生物多様性」に係る品種と銘柄を環境・食育の視点と持続可能な経済から捉え、環境保全型農業（有機農業含）を推進することが重要であるとの認識の基、子ども達と水中生物の観察を長年に渡り続けると共に、地元在来種のオーガニック管理も学校行事の一環として取組み続け、収穫した農産物も子ども達と一緒に味わうなど数々の取組みで地域をエコ・ランド化しています。</p>		
11:40~12:10	検査と認証	「安心・安全をトレーサビリティによる検査認証から」 日本オーガニック検査員協会理事長 丸山 豊氏
<p>【コメント】 全ての法律が消費者保護主体に改正されつつある今、種子(品種・銘柄)を含む生産行程から消費者の手にわたるまでのサプライチェーンがリスク管理されていることの根拠としての検査・認証のメリットと数量管理によるトレーサの検査認証のリスクを認識する必要があります。</p>		
12:10~13:00	昼食休憩	
13:00~13:30	放射能を防ぐ 知恵	「ミネラル不足と新型栄養失調」 特定非営利活動法人「食品と暮らしの安全」 代表 小若 順一氏
<p>【コメント】 間違った食品の放射能汚染対策が大流行。ところが、どれもミネラル不足になる方法ばかり。 ミネラル不足は「子どもの発育傷害」や「大人の鬱病」を助長し「食品の放射能を減らす」けど「体を壊す」リスクが大きくなります。</p>		

13 : 30～14 : 00	たべもの と たてもの	「有機空間」が求められ始めたわけ
【コメント】 CSRの観点から大手住宅メーカーなど中心に、木材製品・部材等の調達方針を策定し、原料の原産地である森林での環境・社会配慮、生物多様性への配慮を確認する取組みが進んでいます。 又、環境保全にオーガニックの推進が必要であるとの認識の基、EUで「オーガニックホテル・レストラン」等が拡大している中、今般の福島原発に関わる放射能汚染問題が起き、世界中から日本の核汚染地域の農作物と農地、森林生態系における産品が注目されています。 そこで、種子、農作物、木材を含む建材等のトレーサビリティが商取引を行う上での安全・安心の根拠として益々重要になっています。		
14 : 00～14 : 10	展示品・関係著書閲覧時間 (休憩時間)	
14 : 10～14 : 40	バイオリージョン	「自立型森林再生と天然住宅」 一般社団法人 天然住宅 代表 相根 昭典氏
仮設じゃない「復興住宅」プロジェクト例 【コメント】 建築用の木材に使用できるのは、原木の約2割、残りの7割強で家具やおもちゃを作り 残るクズ材や枝葉などでペレットに地元で加工、復興住宅で使用することにより、林業の再生を含む地元の経済の循環にも寄与するバイオリージョナルな取組みを行っています。		
14 : 40～15 : 10	生物多様性と 森林認証	「環境保全が推むための基準と製品認証」 株式会社アミタ環境認証研究所 主任審査員 小川直也氏
【コメント】 「NHK スペシャル 汚された大地 20年後の真実～」で紹介されているように、チェルノブイリ原発事故後の北ヨーロッパにおける森林被爆の実態は、皮肉にもそれまでの化学農薬・肥料の使用における生物を含む森林生態の破壊から生物多様性が進んでいるが、未だ森林の線量値は高いままだということです。 又、違法伐採の世界的な監視が求められている中、木材のトレーサビリティは必要不可欠なことです。		
15 : 10～15 : 20	展示品・関係著書閲覧時間 (休憩時間)	
15 : 20～16 : 50	会場全体 (参加者含) によるラウンド・テーブル	
【コメント】 3.11以前の医(耐性菌、医療器具等のDEHP問題含)・食(添加物・農薬を含む有害化学物質残留問題等)・住(CCA処理木材・ヒ素・カドミウム汚染石膏ボード問題等)に係わるリスクを再認識した上で、有害化学物質使用から廃棄までのリスクの積算と核放射能による弱有害遺伝子や遺伝子操作等による食品リスクを考え、建築物に係わる有害物質等の適切な取り扱いや食品放射能汚染の間違った対策を明らかにしていきます。		
16 : 50～17 : 00	見学会等ガイダンスの後 閉会	
懇親会参加者は移動		
17 : 15～18 : 45	演者・スピーカーとの意見交換並びに懇親会	

※新幹線 (上り)

盛岡駅発	18 : 41	東京着	21 : 08
〃	19 : 46	〃	22 : 32
〃	20 : 42	〃	23 : 32

※新幹線 (下り)

盛岡駅発	18 : 26	新青森着	19 : 28
〃	19 : 26	〃	20 : 33
〃	20 : 26	〃	21 : 28

試食会

一口試食会参加者は、別会場に移動し高村氏の「有機雑穀」と「放射線照射による雑穀の新銘柄」を食材とした料理の食べ比べ

懇親会のご案内

協賛者等提供による有機食材・有機純米酒等の料理をお楽しみいただきながら寺澤、小若、高村、丸山、相根氏との意見交換並びに異業種の方々との交流を兼ねた懇親会を17:15から催しますので奮ってご参加ください。

- ※ 事前申込(別添 申込書にて受付)が必要です。
- ※ FAX又はEメールにて8月10日までにお申込下さい。
但し、予定人数(協賛者が優先)に達し次第〆切とさせていただきます。

現地見学会のご案内

◇有機一体管理の
「有機JAS認定圃場」と隣接
「有機管理杉林」の現地見学会
「相根」「小川」両氏との意見交換会も予定しています。

翌9月2日アイーナ正面玄関9:30集合、12:30盛岡駅近辺で解散予定
(天候により若干遅れて解散する場合があります)

- ※ 事前申込(別添 申込書にて受付)が必要です。
- ※ FAX又はEメールにて8月10日までにお申込下さい。
但し、予定人数(協賛者が優先)に達し次第〆切とさせていただきます。

～エコ・ラウンドテーブル’ 11 参加方法～

■ 登録方法

- ① FAXで参加申込される場合については、裏面にご記入の上、送信ください。
- ② 登録は、E-mailでも行っておりますので、申込用紙内容を記載の上、以下のアドレスにお申してください。

axisasac@ybb.ne.jp 又は axis-asac@k7.dion.ne.jp

■ 問い合わせ先

日本農林規格登録認定機関/特定非営利活動法人ASAC

Tel 019-605-3345 Fax 019-605-3346

1. 参加申込について

- ・ **参加費は無料**ですが別添「協賛申込者が優先」となり、定員になり次第締め切りとさせていただきますことを御了知ください。

2. 参加申込方法

- ・ 参加希望者は所定（裏面）の参加申込書に必要事項を記入の上 FAX(019-605-3346)又は郵送にて開催日の3週間前（8月10日）までにお申込下さい。順次参加券をお送りいたしますが、定員になり次第締め切らせていただきますのでお早めにお申込下さい。

3. 開催当日について

- ・ 開場へは公共の交通機関をご利用の上お越し下さい。
- ・ 自動車等でお越しいただいた場合の駐車場は用意しておりませんので予め承下さい。
- ・ 事前にお申込のない方はご参加（入場）いただけません。申込後、参加者に変更のある場合は開催日の2週間前（8月18日）までにご連絡下さい。

会場



いわて県民情報交流センター(アイーナ)
8F (804A・B)

岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
・東北自動車道盛岡ICから車で8分
・JR盛岡駅から徒歩4分

申込用紙

「エコ・ラウンドテーブル'11」への参加を申し込みます

名前	
会社名/団体名	
住所・所在地	
連絡先	TEL : FAX :
	E-mail :
上記の方以外 の同行者（何名 でも登録可能 です。）	お名前 :
	お名前 :
	お名前 :
	お名前 :
業種区分	<input type="checkbox"/> 生産者 <input type="checkbox"/> 製造業者 <input type="checkbox"/> 認定機関 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他（ ）

協 賛 3,000 円/口	<input type="checkbox"/> 開催主旨に賛同し____ <input type="checkbox"/> 協賛申込の上、試食会への参加を希望します。
懇親会 5,000 円/人 見学会 1,000 円/人	<input type="checkbox"/> 懇親会への参加を希望します。 <input type="checkbox"/> 見学会への参加を希望します。

※ エコ・ラウンドテーブルへの参加は無料ですが、試食会・懇親会・見学会は事前申込(個別)の方しか参加できないことを御注意下さい。
(事務局使用欄)

受付番号	
------	--

※ 試食会・懇親会・見学会の申込は、入金確認をもって、受付と致しますので、その旨ご了承下さい。

振込先：東北銀行 本店営業部：普通預金 No.0690465
特定非営利活動法人エイサック 会長 寺澤 政彦

※ 以下の「個人情報のお取り扱いについて」ご同意の上、ご記入・お申込下さい。

個人情報のお取り扱いについて
<p>「エコ・ラウンドテーブル'11」は、岩手県特定公益信託いわてNPO基金の助成による取り組みとして「エコ・ラウンドテーブル'11」の開催事務局をASACが務めております。 参加を希望される方は、以下の「個人情報のお取扱いについて」にご同意頂いた上で、お申し込み下さいますようお願い致します。</p> <p>【個人情報のお取扱いについて】</p> <p>(1)ご記入いただきました個人情報は、「エコ・ラウンドテーブル'11」の運営管理に利用させていただきます。 また、当会に関わる資料や、関連イベントのご案内等を送付させていただくことがあります。 ただし、ご要請があれば、すみやかに中止致します。</p> <p>(2)ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理致します。</p> <p>(3)ご記入いただきました個人情報は、外部事業者への委託の予定はございません。</p> <p>(4)ご記入いただきました個人情報は、外部への提供の予定はございません。</p> <p>(5)ご記入いただきました個人情報は、利用目的終了後、ASACが責任を持って廃棄いたします。</p> <p>【お問い合わせ先】</p> <p>・事務局(参加方法、内容等) ・個人情報に関するご連絡先、苦情・相談窓口 ※開示、訂正、利用停止等のお申し出は、下記窓口までご連絡ください。 特定非営利活動法人ASAC事務局 電話:019-605-3345(10:00-17:00) FAX: 019-605-3346 E-mail: axisasac@ybb.ne.jp</p> <p>【弊会の個人情報保護管理者】 事務局長 岩泉 好和</p>

申込締切は開催日(9月1日)のおおむね3週間前(8月10日)となりますが、定員になり次第締切りとさせていただきますのでご注意ください。